

ヘルスアセスメント	1年・後期	1単位 30時間	准教授 丸澤遊 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110521

1. 授業のねらい・概要

学生は、人間および人間の生活に及ぼす環境因子とそれらに対する人間の反応との関連性からアセスメントするものであることを理解し、その意義を学ぶ。ヘルスアセスメントを、身体的・心理的・社会的視点から学ぶ。特に身体面については、フィジカルイグザミネーションの基礎および、系統別フィジカルアセスメント技法を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 看護におけるヘルスアセスメントの目的及び必要性について述べるができる。(D-2)
2. 科学的根拠や留意事項を理解した上で、バイタルサイン測定を正確に実施できる。(D-2)
3. 科学的根拠や留意事項を理解した上で、呼吸器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる。(D-2)
4. 科学的根拠や留意事項を理解した上で、循環器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる。(D-2)
5. 科学的根拠や留意事項を理解した上で、腹部（消化器系）のフィジカルイグザミネーションを実施できる。(D-2)
6. 科学的根拠や留意事項を理解した上で、筋骨格系、脳神経系のフィジカルイグザミネーションを実施できる。(D-2)
7. 科学的根拠や留意事項を理解した上で、外皮系および乳房のフィジカルイグザミネーションの方法を説明できる。(D-2)
8. 収集された情報を基に健康状態の正常と異常（正常からの逸脱）を判断できる。(D-2)

3. 授業の進め方

講義とフィジカルイグザミネーションの技法を学ぶ演習を組み合わせ、適宜シミュレーションモデルを使用し授業を進行する。

事前課題を与え、ヘルスアセスメントの科学的根拠の理解を促進する。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、体験学習、リフレクション、レポートを用いる。

【ICT活用の実施の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による学習課題の提示、メールによる質問等の受付、web配信「ナーシングチャンネル」の活用等。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	オリエンテーション ヘルスアセスメントとは 健康歴と保健行動の把握 身体診察の技術	講義	予習：テキスト「看護技術Ⅰ第4章A～B, E」を読む。 復習：授業資料を読み直し復習する。	丸澤遊
2	バイタルサイン	講義	予習：テキスト「看護技術Ⅰ第4章C」	丸澤

	(体温・脈拍・呼吸)		を読む。 復習：授業資料を読み直し復習する。	
3	バイタルサイン (意識・血圧)	講義	予習：テキスト「看護技術 I 第 4 章 C-3, D-1」を読む。 復習：授業資料を読み直し復習する。	丸澤
4	バイタルサインの測定	演習	予習：「看護がみえる vol.3」の「バイタルサイン 体温 脈拍 血圧 呼吸」を読み、QR コードから動画を視聴する。 復習：チェックリストを基に測定の練習をする。	丸澤, 他
5	呼吸器系のアセスメント	講義	予習：事前課題をする。 テキスト「看護技術 I 第 4 章 D-2」を読む。 復習：授業資料を読み直し復習する。	丸澤
6	呼吸器系のアセスメント	演習	予習：「看護がみえる vol.3」の「呼吸器系のアセスメント」を読み、QR コードから動画を視聴する。 復習：演習のまとめレポートを記載する。 授業資料を見直し、技術練習をする。 シナリオとフィジコで呼吸の副雑音を聴診する。	丸澤, 他
7	循環器系のアセスメント	講義	予習：事前課題をする。 テキスト「看護技術 I 第 4 章 D-3」を読む。 復習：授業資料を読み直し復習する。	丸澤
8	循環器系のアセスメント	演習	予習：「看護がみえる vol.3」の「循環器系のアセスメント」を読み、QR コードから動画を視聴する。 復習：演習のまとめレポートを記載する。 授業資料を見直し、技術練習をする。 シナリオとフィジコで異常な心音を聴診する。	丸澤, 他
9	腹部（消化器系）のアセスメント	講義	予習：事前課題をする。 テキスト「看護技術第 4 章 D-5」を読む。 復習：授業資料を読み直し復習する。	丸澤
10	腹部（消化器系）のアセスメント	演習	予習：「看護がみえる vol.3」の「腹部のアセスメント」を読み、QR コードから動画を視聴する。 復習：演習のまとめレポートを記載する。 授業資料を見直し、技術練習をする。 シナリオとフィジコで腸蠕動音を聴診する。	丸澤, 他
11	筋骨格系・神経系のアセスメント	講義	予習：事前課題をする。 テキスト「看護技術 I 第 4 章 D-6」を読む。 復習：授業資料を読み直し復習する。	丸澤
12	筋骨格系・神経系のアセスメント	演習	予習：「看護がみえる vol.3」の「脳・神経系のアセスメント」「筋・骨格系のアセスメント」を読み、QR コードから動画を視聴する。 復習：演習のまとめレポートを記載する。 授業資料を見直し、技術練習をする。	丸澤, 他
13	技術チェック	演習	予習：バイタルサイン測定のテキスト、授業資料を復習し、チェックリストに沿って練習する。 復習：技術チェックを振り返り、できなかったところを練習する。	丸澤, 他

14	技術チェック	演習	予習：バイタルサイン測定テキスト、授業資料を復習し、チェックリストに沿って練習する。 復習：技術チェックを振り返り、できなかったところを練習する。	丸澤，他
15	外皮系・乳房のアセスメント	講義	予習：テキスト「看護技術 I 第 4 章 D-4, 9」を読む。 復習：授業資料を読み直し復習する。	丸澤

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）50%，技術チェック 20%，事前課題 20%，演習記録・授業参加態度 10%により総合的に評価する。ただし技術チェックは 80 点以上を合格とし、合格しなければ総合評価を受けられない。

評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5 段階評価で採点する。

尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第 1 回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法、技術チェックの課題及び実施要項は事前に口頭と文書で提示する。

事前課題の配点内訳、①呼吸器系の基礎知識(25%)、②循環器系の基礎知識(25%)、③腹部(消化器系)の基礎知識(25%)、④脳・神経系の基礎知識(25%)。

6. テキスト・参考文献

- 1) 茂野香おる(2023) 系統看護学講座 基礎看護学 2 基礎看護技術 I (最新版) 医学書院.
- 2) 医療情報科学研究所(2019) 看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント (最新版) メディックメディア.

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業前に必ずテキストの予定範囲を予習し(90分以上)、事前学習課題を提出すること。

バイタルサイン測定技術に対して3回以上の自己練習を必要とする。

8. 受講上の留意事項

演習は、NSTC 使用ガイドに沿うこと。

演習時は定められた身だしなみをする。

安全確保のため演習中は教員の指示に従うこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

事前学習課題、演習記録はコメントして返却し、復習に活用する。C 評価の場合は再提出とする。

定期試験の答えは返却しない。模範解答は解説もしくは掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針当該授業科目との関連

必修科目及び、2 年生後期の受け持ち看護実習の先修科目であるため、修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。